



きのえたつ 甲辰、
みやこ 京の都に
バンク
龍の雲を得る如し

大阪・関西万博協賛
開設74周年記念【GⅢ】

平安賞

KYOTO KEIRIN 74th Anniversary HEIANSHOW



■撮影場所：西来院（建仁寺塔頭）

京都市東山区大和大路四條下る小松町590
※特別な許可を得て撮影しております。

京都最古の禅寺・建仁寺の塔頭寺院。
鎌倉・建長寺を開山した建仁（1213-73年）により開山。
本堂の天井、2階の龍を描いた「白龍図」の大きさは横13メートル、
縦6メートル。本堂前、枯山水の庭園「晴唐草堂」の池にも2つの龍が
あります。長らく非公開寺院でしたが、2023年に公開演習750年記念を
迎えるにあたり2024年8月より一般公開されています。

京都向日町競輪場マスコットキャラクター

■ムコリヨ・ムツチー

ポスター内「ムツチーを探せ!!」実施中!

詳しくは京朝向日町競輪ホームページへ!

※ポスター内のすべてのムツチーが対象です。

2024
9/5木 6金 7土 8日

京都向日町競輪
KYOTO KEIRIN



電話投票受付番号 54#

京都向日町競輪 検索

競輪は適度に楽しみましょう。
車券の購入は20歳になってから。

いずれ劣らぬ地元の精鋭

窓場千加頼がウィナーズカップに
続いて、オールスター競輪でも、
決勝進出を果たした。準決勝では
北井佑季を相手に逃げ切り勝ちと
今年が超一流への道の分岐点にな
った感じ。今回は初めて名実共に
主役としての参戦。そのプレッ
シャーを乗り越えて、地元記念の初
優勝を狙う。山田久徳は68周年
と73周年の2回決勝進出を果たし
ている。令和に入って、向日町記
念の顔となりつつある。自力でも
強いが、マークの技術にも進境が
見え始めた。3度目の正直で地元
記念制覇を達成するか。稲垣裕之
は58周年と66周年の2回優勝を
達成している。直近になる66周年
は脇本雄太の番手を回ってのもの。
この経験を若手に教えつつ、自身
も躍進を果たしたい。高久保雄介
は花園高校時代は陸上の砲丸投げ
で活躍。この身体能力の高さが競
輪でも活かされて好成績に結びつく。

地元の精鋭



稲垣裕之（京都）

地元記念は
2度優勝

※京都向日町競輪場は
この記念開催を最後に
長期改修工事に入ります。

高久保雄介（京都）

並外れた
身体能力



向日町バンク74年を締めくくると最終決戦!



SS 脇本雄太（福井）

無双の走りを
再現か

近畿のエース

近畿の絶対エース

昨年こそ負傷で欠場した
が、21年22年は共に完全
優勝。平安賞では無双状態
の現役最強レーサーだ。近年
は首の痛みとの戦い。常
勝無敵とはいかないが、一
旦エンジン点火に成功なら
誰にも止められず、誰にも
交されない圧倒的な推進力
で席卷する。コンディショ
ンが整えば地元近畿の絶対
エースを務める。

地元の主役に成長

オールスター競輪が終了した段階で、
獲得賞金は六千万円越え。ランク9位で
初のグランプリ出場も射程圏に入った。

窓場千加頼（京都）

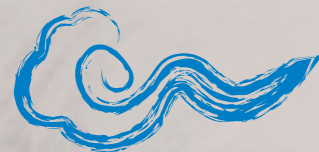


山田久徳（京都）

3度目の正直を狙う



注目のエース



強力な南北関東軍が古都路に集結

南関東勢は今年すでにGIホルダーを2人輩出と勢いがある。そのうちの一人、**北井佑季**が自信と誇りを胸に古都路に登場。高松宮記念杯ではラインの絆と個の力をプラスして輪界の頂点へと駆け上がった。その鍛え上げ培った強靱な先行力をここでも存分に発揮して自らを含めた南関東勢から優勝者をの気構えで発走台に立つ。この北井に乗っていくのが、神奈川勢の**和田真久留**と**松谷秀幸**。和田はマーク、追い込みには止まらずいざという時には捲りの勝負脚がある。松谷はマーク捌きに一段安定感を増してキメ脚が生きてきた印象だが、オールスター転倒の影響が少し心配。3者で息の合った走りを披露してV争いへ。

関東勢の浮沈の鍵を握るのは**長島大介**か。ウイニングショットは痛々な捲りだが、ペースが緩んでいるとカマシ先行も敢行。加えてマーク戦、追い込みと幅のあるのも強みだ。先のオールスターで動きの良かった**佐々木悠葵**と同乗なら任せてキメ脚勝負の場面もありそう。対敵、展開に応じた走りで場内を沸かせ、V圏内に迫って来るか。追い込み陣では**武藤龍生**が近況良い流れをキープしている。元来勝負強いイメージはあったが、最近では機動型をもり立てる安定したマーク捌きに加え、キメ脚の方も冴えがある。番手戦なら無論、たとえ思惑が外れても巧みにコースを探して突入。そんなケースも頭に入れておきたい。



みやこ パンク 京の都に各地から強敵襲来!



近畿の牙城切り崩せるか?

S級S班からは脇本以外に**清水裕友**、**佐藤慎太郎**の両名が幹旋。清水は苦手な夏場を迎えているが今年は松戸GⅢでは南関東勢の二段駆けの目論見を粉碎して見事にV飾る。平安賞は2年



佐藤慎太郎 (福島)

振りの参戦。ASで不完全燃焼の分までファンの声援に応える走りを。佐藤は相変わらず元気。知命の年を迎えんとするが、豊富な練習量に裏打ちされた走りで夢の50歳台S班も視野。ASでも鋭いキメ脚披露。「限界?気のせいだよ」の走りで相性良い向日町のファンを沸かせる。



清水裕友 (山口)



嘉永、荒井、野田、岩津ら西国の反撃も

荒井崇博の決定力も魅力いっぱい。ASでも予選で3連勝決めるなど元気。**嘉永泰斗**との連係から上位進出目指すが、その嘉永がASを欠場しているだけに果たして…。**野田源一**の回転力も見逃せぬし、S班経験者・**岩津裕介**も巧者振りを発揮してこよう。

武藤龍生 (埼玉)

松谷秀幸 (神奈川)

和田真久留 (神奈川)

北井佑季 (神奈川)

長島大介 (栃木)

嘉永泰斗 (熊本)

荒井崇博 (長崎)

